

診療報酬請求情報を用いてタスクシフトの潜在的ニーズを推定するための
基盤整備に関する研究

研究分担者 平木 秀輔 公益財団法人田附興風会医学研究所 保健・健康研究部
研究分担者 吉村 長久 公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院

研究要旨

本研究班においては、医療機関におけるタスクシフトの経営的効果を推計することを目的としてアンケート調査によって教育コストの増分と人件費の圧縮効果を比較することを企図している。アンケート調査の目的を十分に得るためには、対象となるタスクシフト項目についての認識を共通化することが望ましいが、出典としている行政資料のみでは複数の解釈が生じ、比較可能性を損なう可能性がある。そこで分担研究者において、対象タスクシフト項目と診療報酬点数表における区分番号を紐づけることに取り組んだ。

その結果、本研究班が対象としている19のタスクシフト項目のうち、13項目については区分番号との紐付けを行うことができた。残りの6項目については、保険診療外であることや医療機関ごとの運用の違いが大きいことが想定されるなどして、診療報酬項目からの推計は困難であることが示唆された。

今回の結果は次年度以降のアンケート調査に活かされることに加え、タスクシフトのニーズを診療報酬データベースから広く推計するための基盤にもなったものと考えられる。

A. 研究目的

医師から他職種へ業務を移管するタスクシフトの重要性は既に指摘されており、本研究課題においてはその推進による経営上の影響を明らかにせんとしているところである。

研究班においてはアンケート調査を通じて影響を推計することを試みており、具体的にはシフト元の医師の人件費削減分とシフト先職種の人件費増加分を比較することを中心としている。それらの情報を推計するためには職種ごとの人件費単価に業務時間の増減を乗ずる必要があり、業務時間の推定にあたっては当該業務1件あたりの所要時間

と当該業務が発生する頻度を求めなければならぬ。前者については施設特性により一般化は困難であるが、後者については何らかの標準化を行い機械的な情報抽出を可能とすることができれば、アンケート対象医療機関の回答にかかる負荷を低減し、加えて回答の比較可能性を向上させることができる。

そこで本稿担当の分担研究者においては、今回対象としているタスクシフト項目を診療報酬の区分番号に紐づけることで前述の標準化を実現できないか検討することとした。

B. 研究方法

診療報酬点数表を調査し、研究班において対象とするタスクシフト項目（表 1）に相当する診療報酬区分番号を抽出することを試みた。

看護師に係る A1、A2 においては、当該採血・検査を診療報酬請求項目として特定し区分番号に紐付けた。

A3、A5 においては、同様に当該処置を特定し、区分番号を紐付けた。

薬剤師に係る C1 については、周術期の管理という趣旨を踏まえ、全身麻酔手術に紐付けた。

C2～C5 については、患者全体に波及するものであるから、入院患者等の疾病統計を前提とした。

診療放射線技師に係る D1～D4 については、当該項目が前提とする放射線検査・治療に関する項目を抽出した。

臨床検査技師・臨床工学技士に係る E1～E3 および F1～F4 についても、当該項目が前提とする検査に関する項目を抽出した。

項目の選定にあたっては、A1、A2、E1、F1 等の「実施」や「操作」をタスクシフトし、その結果が患者に直接影響する項目に関しては侵襲が比較的小さく、実務上もタスクシフトが行われていることがあるものおよびそれと同等程度の侵襲が予想されるものを分担研究者の経験も踏まえて判定した。

それら以外の「補助行為」とされているものについては、行為の主体は医師であるという判断のもと、当該診療行為に係る診療報酬項目を紐づけた。

データ利用上の簡便性を担保するため、紐づける診療項目区分番号は英数字 4 桁（例：D000 尿中一般物質定性半定量検査）および同粒度の枝番（例：D002-2 尿沈渣（フローサイトメトリー法））の粒度とし、項番以下

の分類については原則として考慮しないものとした。

これらの情報の整備に加えて、検証実験として分担研究者の所属する施設における 1 ヶ月分の DPC 入院 EF ファイルを用いて、当該項目の件数のカウントを試行的に行った。

（倫理面への配慮）

本研究は、一橋大学の倫理審査委員会の審査・承認を受け実施した（承認日：2022 年 10 月 20 日、承認番号：2022C022 号）。

C. 研究結果

紐付けの結果は、表 2 の通りとなった。

A1（事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施）については、事前に取り決めるプロトコールの対象となる範囲が特定しえず、反面薬剤料や検査料全てを対象とすると本来タスクシフトにそぐわない高侵襲の医療行為が相当程度含まれる可能性があることから、診療報酬項目からの抽出は困難であると結論づけた。

B1（院内助産）に関しては、分娩は保険診療の対象外であることから、診療報酬項目による抽出は困難であると判断した。

C3 についても、A1 と同様の理由で診療報酬項目との紐付けは困難であった。

C2、C4、C5 については患者全体に影響するものであり、入院患者数によって推計することが妥当と考えたが、実務上は外来患者にもニーズが想定しうるタスクシフト項目であるため、精緻な推計は困難と考えられた。

F1（人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更）については、手術中の人工心肺使用時におけるタスクシフトを想定していると考えられ、これを抽出するためには L008（マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔）のうち項番 1

(人工心肺を用い低体温で行う心臓手術、区分番号K552-2に掲げる冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの)であって低体温で行うものが行われる場合又は分離肺換気及び高頻度換気法が併施される麻酔の場合)を用いることが妥当と考えた。

A2においては、救急外来で実施されうる検査のうち実務上看護師に採取を任せるとのことができる検査を経験的に抽出したため、実際のニーズと乖離する可能性がある。加えて、検査項目によっては1回の採取によって複数の診療報酬請求が発生するため、実際の採取回数と一致しないことも考えうる。診療報酬区分D400(血液採取料)で推定することも可能と考えられるが、入院患者に算定できないことや尿検査がカバーできない欠点もあり、今回はD000~D019, D028で請求される具体的な検査項目を列挙したが、推計時には患者IDと実施日における重複排除などが必要になると考えられた。

C1については、医療機関において一般的にモニタリングされている全身麻酔手術件数でも推計できると考えたが、診療報酬項目に紐づけることによりナショナルデータベース(NDB)等の活用が期待できることから、全身麻酔に係る診療報酬項目であるL008を挙げた。

その他の項目については、対象となる検査・処置等が明確であり紐付けは容易であった。

入院EFファイルによる試行的なカウントの結果は表3の通りとなった。データの抽出においては当院で医事統計を作成することと同様の工数で実施することができた。

D. 考察

今年度の取り組みにより、厚生労働省において特に推進するべきものとして指定されたタスクシフト項目に対して、どの程度のニーズが存在するかをある程度推定する方法の基盤を整備することができた。今回の成果により、次年度に予定されている大規模な調査において回答が標準化され、比較可能性を向上させられることが期待できる。また、医事システムの活用法を提供することで回答担当者の負担軽減にも寄与すると考えられる。

しかしながら今回の成果において、タスクシフト項目によっては保険診療外であること等の要因により、必ずしも医事請求情報から推計ができるわけではないことが改めて明らかとなった。とはいえ医療機関においては診療台帳等の統計データを保有していることが一般的であり、推計に当たっては各種のデータ源を参照する必要性も明らかとなった。

今回の結果は診療報酬請求データを用いるものであるから、個々の医療機関レベルのみならず、DPC調査データやNDB等の診療報酬請求データベースに対して応用することで、政策立案上の参考情報として活用できる可能性も示唆される。データハンドリングの工数としても、日常業務において各種院内統計を作成することと同等程度のものであり、本研究に協力するために対象医療機関担当者の業務負荷が大幅に増大することはないと想定された。

また今年度の取り組みの限界としては、項目選定を研究者個人の知識・経験をもとに実施しており、外的妥当性の検証が不十分であることが挙げられる。この点については、次年度以降の調査において精緻化・アップデートを重ねてゆきたいと考えている。

E. 結論

診療報酬請求の要件を精査し、求められている項目と請求区分番号の紐付けを行うことができた。これにより、次年度以降の調査に活用できるほか、タスクシフトの潜在的ニーズを推計することが容易となり、医療機関レベル・政策立案レベルでの活用も期待できると考えられた。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表
2. 学会発表

該当無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

参考資料：厚生労働省資料（第7回 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会，令和2年12月 11 日 ）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000704433.pdf>，2023年5月4日アクセス

表1：今回の研究において対象とするタスクシフト項目の一覧

本研究班における項目番号	シフト先職種	タスクシフト内容
A1	看護師	事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施
A2		救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施
A3		血管造影・画像下治療（IVR）の介助
A5		カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為
B1	助産師	院内助産
C1	薬剤師	周術期における薬学的管理等
C2		病棟等における薬学的管理等
C3		事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等
C4		薬物療法に関する説明等
C5		医師への処方提案等の処方支援
D1	診療放射線技師	撮影部位の確認・検査オーダーの代行入力等
D2		血管造影・画像下治療（IVR）における補助行為
D3		放射線検査等に関する説明、同意書の受領
E1	臨床検査技師	心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作
E2		輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領
E3		生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の検査所見の記載
F1	臨床工学技士	人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更
F2		全身麻酔装置の操作
F3		各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為

表2：各タスクシフト項目に紐づく診療報酬区分番号

項目番号	診療報酬点数表における区分番号									
A1	診療報酬での抽出は困難									
A2	D000	D002	D002-2	D005	D006	D007	D017	D018	D019	D208
A3	K546	K547	K548	K549	K550	K550-2	K555-2	K556-2	K559-2	K559-3
	K560-2	K561	K567-2	K570-2	K570-3	K570-4	K574-2	K574-3	K595	K595-2
	K597	K597-2	K597-3	K597-4	K598	K598-2	K599	K599-2	K599-3	K599-4
	K599-5	K609-2	K613	K616-3	K616-4	K616-5	K616-6	K616-7	K618	
A5	J000	J001-2	J022	J022-2	J024	J053	J063	J065	J114	J115
B1	保険診療外									
C1	L008									
C2	入院患者数が参考値となりうる									
C3	診療報酬での抽出は困難									
C4	入院患者数が参考値となりうる									
C5	入院患者数が参考値となりうる									
D1	E002									
D2	K546	K547	K548	K549	K550	K550-2	K555-2	K556-2	K559-2	K559-3
	K560-2	K561	K567-2	K570-2	K570-3	K570-4	K574-2	K574-3	K595	K595-2
	K597	K597-2	K597-3	K597-4	K598	K598-2	K599	K599-2	K599-3	K599-4
	K599-5	K609-2	K613	K616-3	K616-4	K616-5	K616-6	K616-7	K618	
D3	E002	E100	E101	E101-2	E101-3	E101-4	E101-5	E200	E200-2	E201
	E202									
E1	K546	K547	K548	K549	K550	K550-2	K555-2	K556-2	K559-2	K559-3
	K560-2	K561	K567-2	K570-2	K570-3	K570-4	K574-2	K574-3	K595	K595-2
	K597	K597-2	K597-3	K597-4	K598	K598-2	K599	K599-2	K599-3	K599-4
	K599-5	K609-2								
E2	K920									
E3	N006-1									
F1	K601	K601-2	K602	K602-2	L008項番1					
F2	L008									
F3	K000～K913-2（第10部第1節 第1～11款に収載されているもの）									

表 3 : 1 か月分の入院 EF ファイルにおける件数

項目番号	1か月あたりの件数
A1	
A2	入院EFでは困難
A3	44
A5	2,339
B1	
C1	274
C2	
C3	
C4	
C5	
D1	2,297
D2	44
D3	4,104
E1	80
E2	243
E3	392
F1	6
F2	274
F3	770